

# HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成24年2月23日

緑の復元を目指して  
～「桜100本記念植樹祭」に参加しました～

発信元

雲仙復興事務所  
調査・品質確保課 戸高智範

雲仙普賢岳噴火災害から20年が過ぎ、復興事業も着々と進められている中、雲仙復興事務所が管理する水無川導流堤の砂防指定地内において、島原市主催「桜100本記念植樹祭」が2月19日(日)に行われました。

植樹された桜の若木は「日本さくらの会」の支援により島原市に寄贈されたもので、その内の100本が地元住民により水無川導流堤に植樹されました。

植樹祭には地元住民のほか、島原市、島原振興局、雲仙復興事務所の職員、約30名が参加しました。

主催者挨拶の中で横田市長は「ここが新しい桜の名所となることを期待しています」との言葉があり、田村事務所長は「土石流対策、溶岩ドーム対策と同じく、緑の復元は重要な課題です。この場所が活気あふれる場所となり、地元の財産になることを期待します。」と述べられました。



事務所長の挨拶



桜の若木に土を被せる市長、事務所長、振興局長



緑の復元を願って、職員もお手伝い



地元マスコミも取材に来ました